

TOPIC <

～大きく広がる全国連携の輪～  
連携自治体の推移

平成26年9月に特別区全国連携プロジェクトを立ち上げて以来、300を超える自治体の皆さまに登録をいただき、着実に連携の輪は全国へと広がっています。

連携自治体数の推移

※各年8月1日現在(重複を除く)

区分	H27年度	R3年度	R4年度	R5年度	増加数
各区の交流自治体	574	832	830	815	+241
全国連携ホームページ会員登録自治体	149	270	272	317	+166
広域連携協定締結自治体	-	372	372	372	+372
合計	660	1096	1105	1117	+457

協定締結団体一覧

団体名	(協定締結年月日)	構成自治体数
北海道町村会	(平成28年4月26日)	144
京都市市長会	(平成28年4月26日)	15
京都府町村会	(平成28年4月26日)	11
青森県市長会	(平成28年6月25日)	10
青森県町村会	(平成28年6月25日)	30
千葉県市長会	(令和元年10月26日)	37
千葉県町村会	(平成29年1月19日)	17
広島県町村会	(平成29年1月27日)	9
奈良県町村会	(平成30年2月21日)	27
群馬県市長会	(平成30年4月16日)	12
群馬県町村会	(平成30年4月16日)	23
埼玉県町村会	(平成30年5月1日)	23
山梨県町村会	(令和元年10月26日)	14
合計		372

【登録自治体の皆さまへ】アドレス等の登録情報に変更が生じた場合は、修正をお願いいたします。

TOPIC <

～被災自治体への23区連携対応～

「令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号」・「令和5年6月29日からの大雨・令和5年7月7日からの大雨」・「令和5年台風第13号」に係る被災自治体への支援

特別区は、大雨や台風で大きな被害に見舞われた以下の自治体に対して、23区共同で復興支援金を提供しました。

- ・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号：茨城県、埼玉県、和歌山県
- ・令和5年6月29日からの大雨：山口県
- ・令和5年7月7日からの大雨：秋田県、福岡県
- ・令和5年台風第13号：福島県、茨城県、千葉県

～特別区が連携して対応した主な災害支援～

- 東日本大震災（平成23年3月11日）
- 平成28年熊本地震（平成28年4月14日～16日）
- 平成30年7月豪雨（平成30年7月）
- 平成30年北海道胆振東部地震（平成30年9月6日）
- 令和元年8月の前線に伴う大雨による災害（令和元年8月）
- 令和元年房総半島台風（令和元年9月）
- 令和元年東日本台風（令和元年10月）
- 令和2年7月豪雨（令和2年7月）
- 令和3年福島県沖を震源とする地震（令和3年2月）
- 令和3年7月1日からの大雨による災害（令和3年7月）
- 令和3年8月11日からの大雨による災害（令和3年8月）
- 令和4年福島県沖を震源とする地震（令和4年3月）
- 令和4年8月3日からの大雨及び台風8号（令和4年8月）
- 令和4年台風第14号（令和4年9月）
- 令和4年台風第15号（令和4年9月）

# 東京23区

TOKYO 23 CITY

## 全国連携NEWS

日本を元気に！  
23区から全国へ  
全国から23区へ



特別区  
全国連携プロジェクトとは？

東京を含む全国各地域とともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区（東京23区）と全国各地域が連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトです。

vol. 8

発行・編集：特別区長会・公益財団法人特別区協議会  
発行：令和5年12月28日

このNEWSは、東京23区が取り組む「特別区全国連携プロジェクト」を全国の多くの方々に知っていただくためのPR情報紙です。本紙は、次のHPからもご覧いただけます。  
特別区全国連携プロジェクトHP <https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>  
特別区長会HP <https://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>  
(特別区長会とは、東京23区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の発展に資するため、昭和22年5月1日に設立された特別区23区長が組織する任意団体です。)

## 連携の積み重ねによる全国各地域の地域力向上を目指して

特別区と全国の自治体との連携により、ともに発展・成長していくことを目指して進めてきた「特別区全国連携プロジェクト」は、取り組みを開始してから10年目を迎えました。

この間、個々の自治体との連携のみならず、新たな連携の形として複数の自治体同士の連携や企業との包括連携を進め、1,100を超える自治体との連携・交流を実現しました。

この全国の自治体との連携を軸に、被災地支援や連携している各地域の魅力を発信するイベント、シンポジウム、国の地方創生交付金を活用した広域連携事業、東日本大震災からの復興を願いプロジェクト発足当初から行ってきた「東北絆まつり」に対する協力・支援など、様々な事業を展開してまいりました。

今年は関東大震災から100年の節目です。これを機に、これまで行ってきた、職員派遣をはじめとする地震や水害等の被災地への支援を振り返るシンポジウムや展示を行いました。

私たちは、過去の災害の経験から、事前の備えと各自治体との連携・協力体制の重要性を学びました。また、多くの災害の被害が広域に及ぶことから、近隣の自治体だけでなく、遠隔地の自治体

との連携も重要であることも認識しました。

日ごろから顔の見える関係性を大事にすることにより、いざという時に、一本の電話やメールによる応援、受援を可能にできると考えています。

もちろん、有事の時だけでなく、文化面でのつながりや関係人口創出など地域活性化のためにも、お互いの強み、弱みを踏まえ、知恵を出し合うことにより、地域で山積する課題の解決を目指すことができると思います。

大きな成果のためには、日頃の小さな連携や協力の地道な積み重ねと、お互いの信頼関係、結びつきがとても大切です。

東京23区は、全国の皆様との連携の歩みを止めることなく、より一層絆を深め、お互いの地域の地域力向上を目指して努力してまいります。

全国各地域の皆様、ともに発展・成長していくために、手を携えて歩みを進めてまいりましょう。



特別区長会会長  
(新宿区長)  
吉住 健一

特別区全国連携プロジェクト  
公式X(旧Twitter)  
@Zenkoku\_Renkei

プロジェクトのイベント情報を発信するほか、連携している市町村のイベント情報なども発信します。

よろしければ、  
フォローを  
お願いします！



特別区全国連携プロジェクト [ホームページ]  
<https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>  
最新情報やイベント情報などを随時更新!

パソコン・スマートフォン・タブレットからご覧いただけます

全国連携 Q検索



各自治体の皆さまへ「会員登録」のご案内

特別区全国連携プロジェクトは、全国自治体の皆様を対象に、会員専用のHPを用意しております。会員登録していただきますと、掲示板機能を使った東京23区との連携事業に関する情報交換や本HP上での貴自治体情報のPRが可能になります。※登録・利用は無料です。

お問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ

03-5210-9747

特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員登録に関するお問い合わせ

03-5210-9080

公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

特別区全国連携プロジェクトの事業実施にあたっては、特別区長会と公益財団法人特別区協議会が連携して取り組んでいます。

広域連携の  
新たな試み

# 関係人口創出プロジェクトを終えて

特別区長会では、北海道町村会、京都市市長会・町村会の賛同をいただき、令和2年度から令和4年度までの3年間、広域連携の新たな試みとして、(公財)特別区協議会と協力して地域間の「関係人口※1」の創出・拡大を目的とした取り組みを行いました。北海道十勝地域と台東区・墨田区、京都やましろ地域と渋谷区がそれぞれ地域再生法に基づく広域の地域再生計画を策定し、国のデジタル田園都市国家構想交付金※2を活用して様々な事業を

展開しました。

この3年間はコロナ禍の中、当初の予定どおりの展開は叶わなかったものの、オンラインやWEBコンテンツを活用した新しい交流のあり方を模索し様々な結びつきが生まれ、相互理解が深まりました。今回のプロジェクトを通じて、北海道十勝、京都やましろ両地域との間に生まれた結びつきを、今後も育んでまいります。

## ～大地のタカラ×江戸のチカラ～

**北海道十勝地域** (16町2村) 北海道音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

×**東京台東区・墨田区連携**

北海道十勝地域における広大な十勝フィールドや質の高い農産品等と台東区・墨田区が有する江戸の食文化との融合を進め、両地域の活力向上、住民や企業の活躍フィールドの拡大、食育の推進のための事業を実施し、様々な賑わいや関係性を醸成することが出来ました。



主な取り組み

- ・たいとう・すみだ十勝ウィーク
- ・エゾ鹿を活用した特産品づくり (十勝エゾ鹿肉活用メニュー、エゾ鹿の革を用いた製品づくり)、デジタル森林浴など

## ～和文化×多文化～

**京都やましろ地域** (5市6町1村) 京都府宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

×**東京しぶや連携**

京都府山城地域のお茶に代表される伝統的な「和文化」と渋谷区の先進的なファッション、デザイン等の「多文化」との融合を進め、新たな商品や生活文化を創出することにより、山城地域の再生と東京都渋谷区の魅力の拡大を図ることが出来ました。



主な取り組み

- ・お茶の京都大茶会
- ・お茶の京都・東京しぶや特産品づくり (『究極のやましろお茶セット』、京都やましろ食材フェア、京都やましろ特産品メニュー)、オンライン茶文化体験ツアーなど

※1：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のこと ※2：旧地方創生推進交付金

## EVENT 公益社団法人東京青年会議所 第72回全国大会 東京大会への参加協力

特別区長会は、令和5年10月7日(土)、8日(日)に東京ビッグサイトで開催された「公益社団法人日本青年会議所第72回全国大会 東京大会」に参加しました。今回の参加は、特別区全国連携プロジェクトの趣旨に賛同した青年会議所から、全国大会を東京で開催することを機に協力の依頼があったことから、本プロジェクトの一環として行ったものです。

初日には、東京大会記念式典に、区長会を代表して吉住健一会長(新宿区長)が登壇し、開催への祝意・次代を担う世代へのメッセージを述べられました。

二日目には、ステージコンテンツ「未来にConnect! 輝く未来の在り方」に吉住会長が講師の一人として出演され、エシカル消費、ウェルビーイング等について、他の出演者と意見交換されました。

また、メイン会場に「東京23区・特別区長会」としてPRブー

スを出演し、パネル展示やパンフレットの配布等を通して、全国の青年会議所のメンバーや一般来場者に「特別区全国連携プロジェクト」や23区のPRを行い、約1000人の方々に来訪いただきました。

その他、大会期間前からネット上にメタバース会場が設けられ、品川区、豊島区、杉並区、足立区が出展し、各区のPRを行いました。



PRブースの様子

メタバース出展の様子

# 東北絆まつり2023青森を終えて

令和5年6月17日(土)、18日(日)の2日間にわたり青森市で開催した「東北絆まつり2023青森」は、『多彩な東北が、熱い絆でひとつになる』をテーマに、県内外から約29万人のお客様にお越しいただき、盛況のうちに終ることができました。

関係者の皆様に感謝を申し上げます。

東北絆まつりは、東日本大震災からの復興と鎮魂を願い始まった「東北六魂祭」を受け継ぎ、東北の更なる復興とその先の未来に向けて前進するため、「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」「福島わらじまつり」の東北を代表する6つの祭りが結集し、平成29年の仙台市を皮切りに順次開催され、今年も青森市での開催で一巡しました。

今年の東北絆まつりは、約1,200人ももの出演者が心ひとつに演舞する「東北絆まつりパレード」が4年ぶりに公道で開催されたことをはじめ、東北6祭りステージやブルーインパルス展示飛行、東北のグルメが集結したほか、当日のステージやパレードの様子については、公式YouTubeでLIVE配信・アーカイブ化することで、東北の勇気と元気を多くの来場者の皆様と共に発信しました。



特別区長会におかれましては、平成27年の東北六魂祭秋田以降、特別区全国連携プロジェクトの一環として、多くのご支援をいただいております。心から感謝申し上げます。

来年は仙台市での開催が決定しており、これからは「東北絆まつり」を通して熱い絆でひとつとなり、東北の勇気と元気を発信してまいります。

(東北絆まつり実行委員会)



## EVENT 第1回全国連携展示・講演会(災害対策)

「被災地支援を通じた全国連携～復興に向けて共に歩む～」

展示：令和5年7月15日(土)～9月6日(水)  
講演会：令和5年8月28日(月)

「東日本大震災」における被災地支援を参考として、「被災地支援のあり方」をメインテーマに、区政会館で展示と講演会を開催しました。

講演会では、東京都立大学 大杉寛教授を講師に迎え、遠隔連携や受援計画などの重要性についてお話しいただきました。



展示の様子



講演会の様子